

高等部 2 年作業 6 グループ 学習指導案

大阪府立和泉支援学校

T 1 櫻田 佑佳

T 2 安井 賢三

1. 日時 令和 5 年 9 月 20 日 (水) 第 5 時限 (13:20~14:10)
2. 場所 第 2 学年 5 組教室
3. 学部・学年・グループ 高等部 第 2 学年 6 グループ
4. 単元 (題材) 名 「18 歳で成人になるとできること」
5. 単元 (題材) 目標

- ・ お金について、消費契約について学ぶことで、生活していく上で必要な知識を身につける。
(知・技)
- ・ 他の人の意見を聞きながら自分の意見を伝え、話し合いしている。(思・判・表)
- ・ 成人したとき、就労したときにどのようなことに気を付けてお金を使うか等、日常生活と関連付けて考察しようとする(学)

<和泉支援学校キャリアプランニングマトリックス>

- ・ 社会へ 情報への関心 第 4 段階 ③職業生活、社会生活に必要な事柄の情報を収集し活用する。
- ・ 社会へ 消費生活 第 4 段階 ②労働と報酬の関係を理解するとともに、消費者生活について考える。

6. 生徒観

本グループの生徒は、就職を目指している生徒が多数のグループである。私語は多いが、授業中は話をよく聞き、発言も意欲的にできる生徒が多い。人前で話すことが苦手で、話すことを目標としている生徒もおり、グループ内で発表する経験を重ねることで少しずつ自身がついてきている。また、人に伝わる話し方についても学習中である。本グループには就職を目指すとともに、卒業後はグループホーム等で暮らす予定をしている生徒も数名いる。読み書き、計算に関しては生活に必要な程度の理解はあり、一人で買いものなどもできるが、キャッシュカードやクレジットカードといったような、現金以外の支払い方法については、使用したことがなく、金銭管理に関してはほとんど知らず、「不安に思っている」と事前アンケートで答えていた。

7. 教材観

来年 18 歳で成人するにあたり、できるようになること、20 歳になるまでできないことなど、4 月に事前アンケートを取った際に、全員、正式な内容を知らないと答えた。様々な契約ができるようになった

際にどんなことができるのかを学ぶと同時に、消費者トラブルの例を出し、実際にトラブルに巻き込まれそうになったらどう回避するかについても学ぶ。学習してインプットした内容を、友だちや後輩に伝えることを目的とし、啓発プレゼンテーションの形にまとめて発表してアウトプットすることで、さらに深い学びにつなげることができると思う。

グループで話し合いをしながら意見をまとめ、自分たちで撮影した動画を取り込んだりしながら GIGA タブレット端末の Keynote でプレゼンテーションを作る。GIGA タブレット端末については、1 学期に keynote を使ってプレゼンテーションを作る単元を行い、基本的な操作を学習した。

8. 指導観

どの単元を学習する際も、できるだけ実際の生活に結びつく内容になるように心がけている。18 歳で成人になったこともあり、できるだけ正しい情報を知らせておきたいと考える。消費契約については、なかなか教えてもらう機会が少なく、実際にトラブルに巻き込まれている事例も多い。そういったことに巻き込まれないためにも、自分たちで啓発プレゼンテーションを作成することで、学んだことをさらに深い学びにつなげていけると考える。また、伝える相手を「友だちや後輩」と、身近な人に設定をすることで、どのようにしたら伝わるか、わかりやすいか、など、他者に伝えることを意識しながら作成するように促す。

GIGA タブレット端末を使用し、自分たちで調べ、調べたことをどういったプレゼンテーションにするかをグループで話し合い、考えていくことで、より主体的・対話的で深い学びをめざす。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①お金の使い方、消費契約など、生活していくうえで必要な知識を身につける。	①相手の意見を聞きながら、自分の考えや意見を述べるができる。	①日常生活と関連づけて考え、学習に主体的に取り組もうとしている。
②タブレット型 PC 利用して情報収集をし、わからないことを調べる。	②自分で調べたことをまとめて、相手に伝わる伝え方を考えることができる。	②お互いに意見を出し合い、興味・関心がある物事について協力して調べる。
③タブレット型 PC でプレゼンテーションを作成する。		

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全 10 時間、本時は第 6 時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	1	・自立度チェック	・卒業後に必要な力として、自分自身について振り返り、項目をチェックして、今後自分が取り組んでいくべきことについて考える。	・一つひとつの項目を読み上げ、補足説明する。 ・チェックの多い少ないにこだわらず、今後が伸ばりたい項目を見つけるように促す。	・ A ① ・ B ①

2	2	・お金の支払い方法について①	・買い物をする際、どのような支払い方法があるかを調べる。また、そのメリット、デメリットについても調べる。	・まずは友達と相談せず、自分でタブレット型PCや教科書を用いて調べるよう促す。	・A② ・C①
	3	・お金の支払い方法について②	・調べたことについて意見交換をし、将来どのように活用していきたいかなどについて考える。	・自分の調べたことをまとめて相手に伝える。 ・まずは相手の意見を聞いてから自分の意見を述べるように促す。	・B① ・B②
3	4	・18歳になったらできるようになることについて ・消費契約について	・18歳に成人したときについて調べる。 ・消費生活クイズに取り組む。	・まずは友達と相談せず、自分でタブレット型PCや教科書を用いて調べるよう促す。 ・自分で考えて取り組むように促す。	・A② ・C①
	5	・消費契約について①	・消費契約について、消費者トラブルの事例について学ぶ。	・自分自身の生活、将来やってみたいことなどに関連づけて考えるように促す。	・A①② ・C①
	6	・消費契約について②	・18歳になったらできること、消費契約についての啓発プレゼンテーションを作成する。	・友達と意見を出し合い、どのような内容を載せるか、話し合いをするように促す。	・A②③ ・B① ・C②
	7 8	・消費契約について③	・消費者トラブルに実際あったときに、どう対応するか意見をまとめ、プレゼンテーションを作成する。	・お互いに意見を出し合い、協力して調べ、まとめていくように促す。	・A③ ・B① ・C②
4	9	・消費契約について④	・作成したプレゼンテーションの発表練習をする。 ・グループで役割分担を決める。	・声の大きさ、話すスピード、間など、相手に伝わりやすい話し方を意識して練習するように促す。	・B②

10	・消費契約について⑤	・プレゼンテーションを 発表する。 ・振り返りシートに記入 をする。	・話す態度だけでなく、 聞く態度も意識するよ うに促す。 ・マイナス面を探すので はなく、いいところを見 つけるように促す。	・ B①②
----	------------	---	---	-------

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・18歳で成人したらできるようになることについて調べたことをもとに話し合い、相手の意見を聞きながら、自分の考えや意見を述べるができる。(思・判・表)
- ・調べた内容をまとめ、わかりやすく相手に伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・18歳で成人したらできるようになることについて調べたことをもとに話し合い、相手の話を聞くことができる。
- ・相手の意見を聞きながら、自分の考えや意見を述べようとしている。
- ・調べた内容や話をまとめ、プレゼンテーションを作成する際に、相手に伝わる工夫をすることができる。

(3) 本時で扱う教材・教具

公益社団法人 全国消費生活相談員協会 小冊子「18歳で成人になるってどんなこと？」

(4) 児童生徒の実態と本時の目標

※省略※

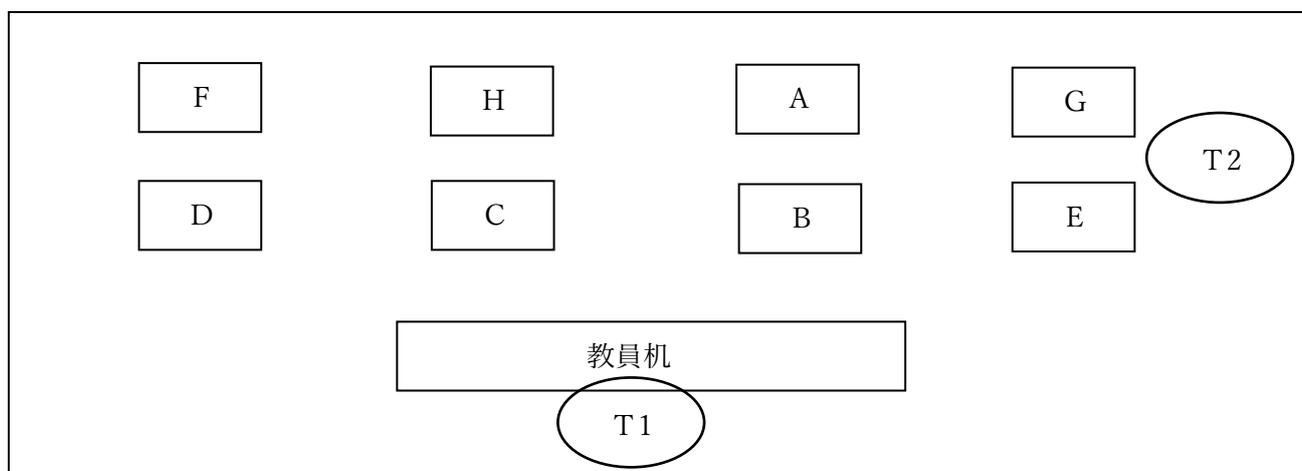
(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
10分 導 入	・挨拶、出席確認 ・本日の流れの確認 ・ルールの確認(みんなのためのルールブックより4つ)	・日直による挨拶、出席確認を行い、私語なく分離礼をするように促す。 ・前回の振り返りをおこない、本日の流れについて説明、確認する。 ・順番に読んでいくことを確認する。 ・内容について質問をしたり、補足説明をしたりする。	・ C①

<p>35分</p> <p>展 開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれる。 ・ ・前回学習したことを元に、どのようにスライドを作成していくか、グループで話し合い、ワークシートに記入していく。 ・記入したものをもとにスライドを作成していく。 ・まとめを振り返りシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめグループの席を決めておく。 ・グループに2台タブレット型 PC を渡し、同時に違うページを作成できるようにする。 ・何もしていない生徒が出てこないように全員が自分の担当部分の作成に取り組むように声かけをする。 ・動画を撮影する必要がある際は、T2 教員と一緒に高ホール等で撮影をする。 ・机間巡視をし、質問等あれば、答えたり、一緒に考えたりする。 ・今日進んだところまでを振り返りシートに記入するように声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B① ・ A②③
<p>5分</p> <p>ま と め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机を戻し、タブレットを回収する。 ・本時のふりかえりをおこない、次の授業内容を伝える。 ・挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで分担して片付け等をおこなうように声かけをする。 ・グループの代表生徒が、どこまでできたか、次回はどうしたいか等を発表する ・日直による挨拶を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B①②

(6) 教室配置等 (正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す)

導入時



展開時

